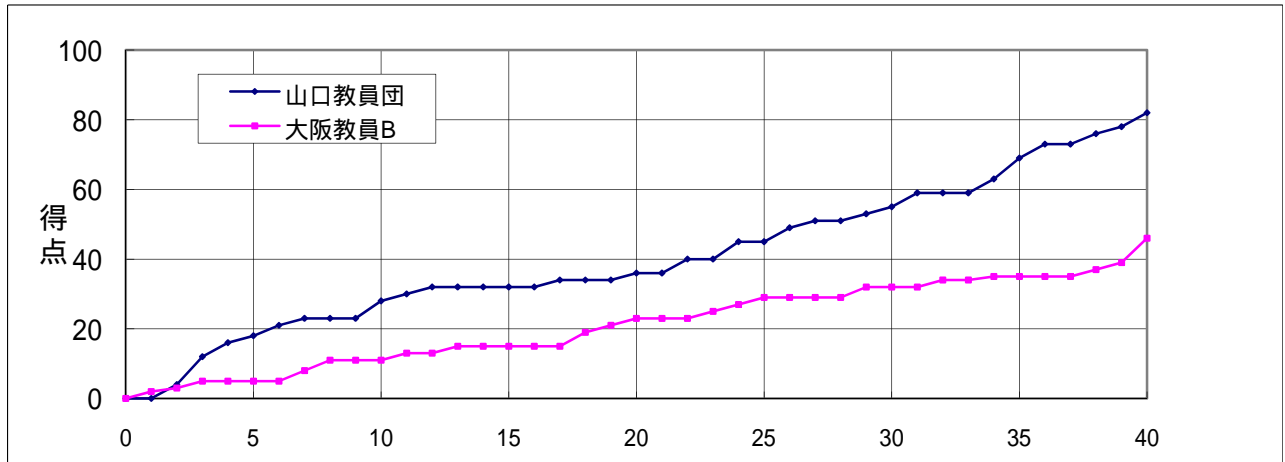


大会名	第48回男子・第40回女子 全日本教員バスケットボール選手権大会 「おいでませ！山口国体バスケットボール競技リハーサル大会」	10C3	13:30	男子2回戦																
	期日	2010年(平成22年)8月10日(火)	山口教員団 82 (山口県)	<table border="1"> <tr><td>28</td><td>-</td><td>11</td></tr> <tr><td>8</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>19</td><td>-</td><td>9</td></tr> <tr><td>27</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	28	-	11	8	-	12	19	-	9	27	-	14	-	-	-	46 大阪教員B (大阪府)
					28	-	11													
8	-	12																		
19	-	9																		
27	-	14																		
-	-	-																		
会場	ソルトアリーナ防府																			

主審 福岡敏徳

副審 羽村和大



タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
15:45	-	-	-

## 山口教員団

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	高部 貴透 (C)	-	-	-	-	-	-	-
5	唐渡 大輔	2	0	1	0	2	0	0
6	二名 庸雄	-	-	-	-	-	-	-
7	中村 智明	2	0	1	0	3	2	0
8	竹本 徹	2	0	1	0	1	1	1
9	* 西村 悠	4	0	2	0	0	4	2
10	末岡 大樹	4	0	2	0	2	2	0
11	石田 啓介	0	0	0	0	0	1	0
12	* 川本 賢一	20	2	7	0	1	2	3
13	藤井 佳輔	0	0	0	0	0	0	0
14	渡邊 真一郎	2	0	1	0	0	0	0
15	* 高橋 悠	6	0	2	2	2	6	0
16	* 隅 廣 敬太郎	26	2	7	6	2	1	3
17	* 廣中 俊	14	0	5	4	1	1	0
コーチ 枝折 健吾		/	/	/	/	/	/	/
合計		82	4	29	12	14	20	9

タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
03:35	19:13 30:52	-	-

## 大阪教員B

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
12	* 矢倉 亮	10	0	5	0	4	7	1
15	* 高木 穰 (C)	0	0	0	0	1	0	0
31	平賀 遼太郎	3	1	0	0	4	2	1
0	加藤 優弥	5	1	1	0	1	1	0
8	柳田 浩昭	0	0	0	0	0	0	0
22	* 杠 和磨	4	0	2	0	1	4	0
28	菅原 良太	0	0	0	0	1	1	0
18	玉上 大輔	0	0	0	0	1	0	0
14	岡村 聡	9	1	3	0	0	1	0
7	祖母井 豪人	0	0	0	0	0	0	0
32	門川 城二	-	-	-	-	-	-	-
43	* 中尾 翔一	1	0	0	1	4	0	1
55	* 森本 彰	8	0	3	2	1	4	0
62	矢野 剛	6	1	1	1	3	1	0
コーチ 新宅 幡生		/	/	/	/	/	/	/
合計		46	4	15	4	21	21	3

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

## 戦評

1Q、両者ハーフコートマンツーマンでスタート。大阪#12のドライブで2点先取。しかし、山口#17のジャンプシュートを皮切りに#9のスチールやシステムオフェンスが効果的に決まる。#17のバスケットカウントに大阪たまたずT0。その後も山口ペースが衰えない。大阪はメンバーチェンジでどうにか流れを変えたいところだが、山口のチームディフェンスの前になかなか策が見出せない。残り3分、大阪#62、#0の連続3Pで流れを変えたかに見えたが、山口#16のプザービーター3Pが決まり、28-11で終了。2Q、両者ともにミスが目立ち、スコアが伸び悩む。残り2分から大阪が#62のスチールや#55のリング下のプレイで追い上げにかかる。山口ここでT0、32-23。この後は、落ち着いてプレイを続け、36-23、山口リードで前半終了。3Q、大阪がプレッシャーマンツーマンディフェンスを仕掛けるが、山口はうまくかわし逆に速攻で得点を挙げる。大阪#55のインサイドの攻撃で加点するも、山口#12の3Pで追撃を許さない。その後もパスカットからの速攻、チームファウルフリースローを絡め、山口23点リードで終了。4Q、山口#5、#12の速攻からの連続得点で勢いに乗り、大阪たまたずT0。その後、最後の踏ん張りを見せる大阪は、オールコートマンツーマンディフェンスで仕掛ける。しかし、それをうまくかわした山口が逆に得点を重ね、追撃を許さず結局82-46で終了。ディフェンスで頑張りを見せた大阪だが、地元声援を受けた山口が、チーム力を見せたゲームとなった。

記載者	柴崎太志 (所属) 山口県バスケットボール協会
-----	-------------------------